

産業懇談会の魅力と 新しい取り組み

産業懇談会は、会員のより積極的な相互交流、情報交換を目的として1974年に設置された。現在874人(2022年6月13日現在)の会員が14グループ(1グループ40~102人)に分かれ、それぞれの世話人および運営委員を中心に自主運営を行う。グループごとに月一回の例会を昼食会形式で開催し、メンバー間の情報交換や外部講師による講演会を行ってきた。

新型コロナウイルス感染症により、この2年間いくつかの例会が中止になるなどの影響を受ける一方、オンライン方式による開催も増えた。

また、2021年度は新しい取り組みとして14グループメンバー全員を対象とした「オンライン海外視察」を実施、参加者から高い評価を得た。

今号では産業懇談会の概要と魅力をお伝えする。



INDEX

代表世話人からの 対談メッセージ.....04

湯川 智子 CO2資源化研究所 取締役副社長

内田 士郎 SAPジャパン 取締役会長

オンラインで海外視察.....07

2021年度産業懇談会で 講演いただいた外部講師.....08

グループ紹介.....09



代表世話人からの対談メッセージ

産業懇談会ではメンバー同士の交流や、政治・経済・文化・科学・スポーツなど多彩なジャンルの外部講師を招いた昼食懇談会などの活動を行っている。通常は視察できない施設の見学なども活発に行い、経営者同士の肩肘を張らない、他に得難い場となっている。今号では代表世話人を務めるお二人に、対談形式で、会員に伝えたい活動の魅力や、コロナ禍での新しい取り組みについてお話をいただいた。

内田 士郎

SAPジャパン 取締役会長

湯川 智子

CO2資源化研究所 取締役副社長

自分の拠点を見つけた気持ちになれた「産業懇談会」は、他にはない大きな魅力

湯川 私は30代後半に経済同友会に入会しましたが、皆さん、ご経験も肩書きもすごい方たちばかりでしたから、身がすくむような思いをしていました。女性も当時はまだ非常に少なかったです。当初は「怖い」という気持ちがありました。

実は入会当初、「創発の会」でご挨拶させていただいた方から「(入会するには)ずいぶん若いのに。しかも女性なのに」という反応も感じたので、もしかして自分は場違いな所にいるのではないかと、足が遠のいてしまったことがありました。そんなとき、私を経済同友会に推薦くださったお一

人のサントリーの立木正夫常務(当時)が世話人をされている「産業懇談会」の第2水曜グループ(以下2水)に呼んでいただきました。ここで、皆さんから「怖いことは何もないよ。ここはホームルームだから」と言われて、とても救われた気持ちになりました。ようやく、経済同友会での自分の拠点を見つけた気持ちになりました。

2水には大学の先輩もいましたし、同期の女性ともつながりができました。皆さんからいろいろなことを教えていただきましたし、貴重な出会いもたくさんありました。「新しく入っていらした方には、自分もこんなふうにして差し上げたいな」というお手本のような方たちと出会うことができたのが2水という場所でした。

内田 まさしくホームルームですね。^{かみしも} 袴を脱いだ付き合いができる場所。これこそ、経済同友会が他の経済団体と大きく違う点だと思っています。普段、アポを取るのも大変な方と、昼食を共にして気軽に話ができるというだけでも魅力ですが、さらに信頼が深まれば一緒に食事やゴルフなどプライベートな付き合いにも発展していきます。ご子息の結婚式に呼んでいただいたこともありました。経済同友会の仲間たちと同じテーブルで愉快地祝杯を挙げる結婚式、あんなに楽しい式はありませんでした。会社の代表として参加しているのではなく、あくまで個人として参加しているからこそ関係だといえるでしょう。それぞれが独立した個人としてお互いに知己を得て知見を広め、肩書きを超えて好きなことを言い合える。意見が違うのは当たり前という前提で、天下国家を論じることもできるのです。本当に貴重な場だと思います。

湯川 智子

CO2資源化研究所 取締役副社長

上智大学短期大学部卒業後、東洋工業(現マツダ)入社、82年ドウ・クリエーション設立、取締役社長、89年インプレッション取締役社長、2010年ドウ・クリエーション取締役会長、12年東京ニュービジネス協議会副会長、サピエント設立、取締役社長、14～17年上智学院評議員、15年CO2資源化研究所取締役、21年同副社長、22年クリーク・アンド・リバー社社外取締役。2001年経済同友会入会、12年度より幹事、21年度より産業懇談会代表世話人。



経済同友会というと、どうしても委員会による政策提言活動に注目が集まりがちですが、各グループが自主的に運営して交流を広げるこの産業懇談会は、経済同友会だけが持つ、大きな魅力だと思っています。ここでの交流を通して、会員一人ひとりの人生が、さらに豊かで奥行きのあるものになっていくでしょう。産業懇談会での出会いがまず個人の血となり肉となり、社会貢献へと向かう原動力になっていくと思っています。

生の声、ここでしか聞けない貴重な話 本音の付き合い、盤石な関係にもつながる

内田 湯川さんが入会した当時より、現在は女性のメンバーもずいぶんと増えましたね。

湯川 女性の会員は、さまざまなハードルを越えてきた方ばかりですから、話にも重みがあります。大人になってからの友人は、会社の中では難しい面もありますが、ここでは男女問わず素敵なお友達が増えていくことがうれしいです。仕事上でのお付き合いや会社の中での関係とはまったく違うからこそ価値があります。女性も増え、年代、会社の規模、業界などが異なる方々との交流は大きな魅力です。

内田 産業懇談会で常に顔を合わせて語り合っているからこそ、電話一本で、すぐに相談にも乗ってもらえる。私もたくさんの方にサポートしていただきましたし、こちらがお役に立てたこともあります。そういう形で広がりが出ていきます。

湯川 産業懇談会でのお付き合いを通して、その方の人となり分かるというのは大きいと思います。所属企業がしっかりしているということに加えて、人間的にも信頼できる方なのかどうかが見えてきます。

内田 そうですね。新聞紙面でよくお名前を見るような方がたくさんいらっしゃいますが、紙面に載る記者会見などの言葉とは違う生の声を直接聞くことができるのは、大きな価値だと思います。

湯川 オフレコの場合だという安心感もあります。だからこそ、打算のない本音のお付き合いができますし、ここでしか聞くことのできない貴重なお話を耳にする機会も多くあります。そうしたかかわり合いによってお互いの人間性が深いところまで見えてきます。信頼度に加え、その方の人間性の両方が分かれば盤石な関係に発展しますし、仕事の話につながることもあります。そこから「うちの社外取締役をやってくれないか」というように発展する例もありますし、そうしたかかわりを通して会がさらに活性化するのでと思います。

月一回のランチタイムを有効活用 知見を広げる、貴重な出会いの宝庫

湯川 現在、産業懇談会に参加している方は、まだ全会員の半分強。せっかく入会をされたなら、経済同友会の貴重な「資産」を活用されないことは、とてももったいないと思います。

内田 皆さんランチは食べるわけですから、月に一度は産業懇談会に足を運んで食事を共にしながら講演を聞き、参加者ともややま話をしながら知見を広めて、ランチの時間を有効活用していただきたいと思います。「同じ釜の飯」を食べた、貴重な仲間が得られることと思います。

湯川 入会されたばかりの方は、かつての私と同じように、どこに自分の身を置けばいいのか分からない、ということも多いと思います。そういうときは、まず産業懇談会に入っていれば、「ここに居場所がある」と実感できると思います。例えば私たち2水が大事にしているのは「皆さんが主役」というスタンス。新しく入ってきた方には、「心配しないでいいよ」と声を掛けて、その人のサポートに心を砕きます。

内田 私は第4火曜グループ(以下4火)の世話人をしていますが、4火では、外部講師の講演以外に、新しく入ってきた方に自己紹介も兼ねた講演をしていただいています。先日は、外資系の金融機関をいくつも経験されてきた女性が、外資系特有の人事制度について話してくださいました。皆さんそれぞれ個性的な話をされます。サウジアラビアの巡礼地であるメッカでテントを施工するにあたり、いかにして遮光布で可動式のバラソルを開発したかという苦労話など、大変印象深いお話ばかりです。また外部講師では、文化勲章を受章された画家や陶芸家の方たちが作品をお持ちになってお話しいただいたり、女性レーシングドライバー

内田 士郎

SAPジャパン 取締役会長

1978年早稲田大学政治経済学部卒業後、ピーター・ウィックミッチェル入社、86年から99年まで米国勤務、99年PwCコンサルティング取締役、2005年ベリングポイント取締役社長、09年プライスウォーターハウスクーパースコンサルタント取締役社長、10年プライスウォーターハウスクーパース取締役社長、12年同取締役会長、15年SAPジャパン取締役会長。2009年経済同友会入会、10年度より幹事、13年度より東北未来創造イニシアティブ協働委員会副委員長、15～16年度先進技術による経営革新委員会副委員長、22年度より産業懇談会代表世話人。



でありながら社外取締役も務められる方などに講演をしていただいたりしました。他にもメンバーの人脈がなければ入ることができないような特殊な施設を見学したこともありました。このような貴重な出会いの宝庫ですから、皆さん気軽に産業懇談会に参加をしていただきたいと思います。

湯川 どの会に入ったらいいのか分からない、という方や、そもそも会の活動内容がよく分からない、という方も少なからずいらっしゃると思います。

内田 確かに、知り合いに引っ張ってもらおうといったことがないと、なかなか足を踏み入れるきっかけがつかれないかもしれません。私がお勧めしたいのは、まずはお試しでいろいろな会を見て回ることに。それぞれの会の雰囲気を感じてみてください。相性もあることですから、入ってみてから別の会に移るのも自由です。

湯川 知らない所に入っていくのは足が重くなります。これから新しく入会される方には、デフォルトとして産業懇談会に入っていたかどうかという仕組みでもいいかもしれません。入会2年目までの方が参加する「創発の会」とコラボレーションして、それぞれの会のPRをさせていただくなど、工夫できることはたくさんありそうです。

懇談会のグループを横断したイベントも実施 ジャンルを超えた化学反応を期待

内田 この2年あまりはコロナ禍の影響でイベントも中止せざるを得なかったのは残念でした。しかし、オンライン会議を活用した結果、懇談会への参加率は上がりました。オンラインによる新しい可能性も広がったように思います。

湯川 例年は夏に14グループの合同懇談会を開催していましたが、新型コロナの影響からここ2年は中止せざるを得ませんでした。また、各グループで実施していた見学会も開けないケースが多くなっていました。そこで新たな取り組みとして、旅行代理店に依頼して全懇談会を横断したオンライン見学会を企画、実施しました。リアルタイムでアフリカのサバンナやウィーンの街並み、スペインのプラド美術館紹介など、好きなコースを選べる形にしましたが、グループの枠を超えてメンバーが交流する機会にもなり、参加した人から高い評価をいただきました。

内田 オンラインならではの企画でした。それぞれの国・地域をライブ映像でつなぐので、今のサバンナの動物たちの様子などをリアルタイムで共有できました。

湯川 楽しかったですね。旅行後にブレイクアウ

トルーム機能を活用して、参加者同士で、ワイン片手に視察の感想を言い合える場を設けたら良かったかな、と後から気付きました。懇談会に横串を通してコミュニケーションを深める良い機会になると思いますので、次回の課題にしたいです。

内田 懇談会を横断して知己が広がるというのは、会の活性化にもつながりそうですね。

湯川 経済同友会の入会は企業の執行役員以上という条件ですが、若い世代の方もいらっしゃいますし、最近はベンチャーの方も増えつつあります。他ジャンルの大企業の方やベンチャーの方と知り合うことで、良い意味での文化の衝突のようなことや、化学反応が起きることを期待したいと思います。

内田 そうすることで、組織の新陳代謝も進みますね。同じメンバーで固定してしまうことが一番良くないですから、組織を活性化していく上でも、常に新しい方に入っていただくことが重要だと思います。そして、ここで出会ったこと、経験したことが全て、会員一人ひとりの人生を豊かにする財産となります。そうした認識が皆さんに染み渡っていくと、創設当時の趣意書に込められた思いに立ち返っていただけるのではないかと考えています。個人それぞれの思いを結集した力こそが、世の中をより良くしていく。その源泉は、繰り返しになりますが、私は産業懇談会にあると思っています。

湯川 本当にそうですね。原点回帰。1946年の設立趣意書「日本はいま焦土にひとしい荒廃の中から立ち上ろうとしている……今こそ同志相引いて互に鞭^{むちう}ち脳漿^{のうしょう}をしぼって我が国経済の再建に総力を傾注すべき秋ではあるまいか」「本会は他面、会員が相互に啓発し合い切磋琢磨する教室でもあり、また気楽に親交を温める倶楽部でもある」というあの言葉の通りですね。



ナイロビサファリ、ウィーン、プラド美術館 オンラインで海外視察

産業懇談会では年に一度「14グループ合同暑気払い」として対面での懇談会を開催し、各グループの垣根を越えた懇親を図ってきた。しかし、2020年・2021年と新型コロナウイルスの影響により開催が見送られ、14グループの交流が途絶えていた。2020年度は新型コロナウイルスの影響の下での産業懇談会運営について試行錯誤が続いたが、2021年度はオンラインの運用も定着してきたため、これを踏まえた新たな合同・共通体験企画として「14グループ合同オンライン海外視察」を企画、実施した。

単に視聴するのではなく、現地とつながり、現地ガイドとライブでコミュニケーションをしながら各地を疑似体験する形とした。「ケニア ナイロビ国立公園サファリライブツアー」「音楽の都 ウィーン散策」「マドリッド プラド美術館セミナー」の3回を実施、多数の参加者を得た。

参加者に好評、 産懇に新たな可能性

サファリツアーでは、現地ガイドが車で「ナイロビ国立公園」の中を案内、近寄ってくる動物たちの様子や、公園の背景にある近代的なビル群とのコン

音楽の都 ウィーン散策

**オンライン開催
LIVEツアー**

開催時間: 18:00~19:00

オンラインで街歩き！ウィーンの名所案内

現地のベテラン日本語ガイドが、実際にウィーンの街を歩きながら生中継いたします。世界的に有名なウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地・楽友協会から出発し、リング通りを歩きながら、世界三大歌劇場のひとつである国立オペラ座、その後ウィーンの目抜き通りであるケルトナー通りへ。ケルトナー通りでは、現在のウィーンの様子をご覧頂くと共に、皇室御用達のお店やカフェなどをご紹介いたします。また、現地在住者の目線でコロナ禍の様子、ワクチンパスポートの導入状況等もレポートいたします。




シュテファン寺院はじっくりと解説

オーストリアで最も重要なゴシック建築でウィーンのシンボル、シュテファン寺院。塔の高さは約107メートル。



■当日の行程（予定）

17:50	専用URLにアクセス！開始をお待ちください。
18:00~	ツアー開始 ＜主な観光地＞ ■楽友協会(外観) ■国立オペラ座(外観) ■ケルトナー通り ■シュテファン寺院(外観)
18:50頃	質疑応答

ウィーン視察の案内

トラストという、まさに現代社会と自然が共存する姿を実感した。

ウィーンでは、世界的に有名なウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地・楽友協会から出発し、リング通りを歩きながら、世界三大歌劇場の一つである国立オペラ座、ウィーンの目抜き通りであるケルトナー通りへ。

ウィーンのシンボルで、オーストリアで最も重要なゴシック建築であるシュテファン寺院では、寺院をぐるりと回

りながらこの歴史的な建造物についてたっぷりと見学することができた。

プラド美術館セミナーでは、マドリッドの街並みを楽しむとともに、ゴヤ、ベラスケス、ブリュゲルなどプラド美術館に収蔵される作品と、それにまつわる秘話などを聞き、造詣を深めることができた。

参加者の満足度も高く、オンラインを活用した、産業懇談会の新しい可能性を感じさせる企画となった。



現地ガイドさんによる案内



歯痛のキリスト像

2021年度産業懇談会で講演いただいた外部講師(抜粋)

上段：講師名・肩書(開催時) 下段：講演テーマ

敬称略・順不同

佐藤 正之 東京都立産業技術大学院大学 特任教授 認知症に対する非薬物療法：音楽療法を中心に	堀 乙彦 日本赤十字社 事務局長 新型コロナウイルス感染症まん延下の赤十字活動
近藤 誠一 近藤文化・外交研究所 代表／元文化庁長官 人文知で切り開く未来～大局観と座標軸をもて～	三谷 純 筑波大学 教授 折紙研究の最先端～折紙と文化、数学、アート、工学
桜田 一洋 理化学研究所 情報統合本部 先端データサイエンスプロジェクトリーダー 拡張知性(EI)で駆動される保健・医療イノベーション	和田 洋巳 からすま和田クリニック 院長 癌は生活習慣病である・その対処の仕方は？ SBMという立場からの医学治療
堅達 京子 NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー 2050脱炭素へ グリーンリカバリーをめざせ！	ジョージ・オルコット 大学院大学至善館 副学長 教授 コーポレートガバナンスの変遷と社外役員の役割
内田 智士 京都府立医科大学大学院医学研究科 医系化学 准教授 新型コロナウイルス及びそのワクチンの最新の科学と今後の展望	平出 淑恵 コーポ・サチ 代表取締役 SAKEから観光立国
百野 公裕 グラミン日本 理事長 CEO コロナ禍で深刻化する日本の貧困～わたしたちにできることを考える～	澤 和樹 東京藝術大学 学長 国策としての「芸術のススメ」
為末 大 Deportare Partners CEO／元陸上選手 言葉とコーチング	田中 雄二郎 東京医科歯科大学 学長 ポストコロナ時代の「医療復興」に向けて～本学の経験を踏まえて
武藤 敏郎 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 事務総長 COVID-19下の東京2020オリンピック・パラリンピックと日本の未来	村田 理如 清水三年坂美術館 館長 欧米人を熱狂させた明治工芸～生まれた背景とその衰退～
井上 智広・浅井 健博 NHK 大型企画開発センター チーフ・プロデューサー NHKスペシャル「新型コロナ 全論文解説」その取り組みと成果	垣内 俊哉 ミライロ 取締役社長 バリアバリュー～障害を価値に変える～
森 信好 聖路加国際大学 聖路加国際病院 内科系診療科 感染症科 医長 COVID-19、最新の知見	山口 しのぶ 国連大学サステナビリティ高等研究所 所長 国際連合大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) の紹介
上田 紀行 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院長 教授 新時代のリーダーを育てる	村上 建治郎 Spectee 代表取締役CEO 未曾有の災害に対応する『AI防災』の最前線
松山 大耕 妙心寺退蔵院 副住職 AI時代の人間の可能性～禅の修行からの考察～	岡田 光信 アストロスケールホールディングス 創業者 兼 CEO 持続可能な宇宙環境の実現と令和時代の起業家精神
高山 博子 太宰府天満宮 権禰宣 変わらないために変わりつづける～今を生きる神社	大嶋 泰介 Nature Architects 代表取締役CEO メタマテリアルを活用した製造業設計DXの再前線
山崎 直子 宇宙飛行士 宇宙、人、夢をつなぐ	藤原 帰一 東京大学大学院法学政治学研究科 教授 緊迫する米口関係～瀬戸際政策にどう対すべきか～
長谷川 直之 気象庁 長官 異常気象と地震災害	落合 陽一 筑波大学 准教授 計算機と自然、脱炭素とデジタル、祝祭と身体性
醍醐 象器 東京医科大学病院 事務部長 医療経営におけるwith Covid-19、after Covid-19	江崎 浩 東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 兼 デジタル庁チーフアーキテクト Society5.0の“実”実装～DXとCNIに向けたデジタルインフラの整備～
野辺 継男 名古屋大学 客員准教授 自動車産業革命の本質	初瀬 勇輔 日本パラリンピアンズ協会 理事 パラリンピックを通して考える共生社会
濱口 道成 科学技術振興機構 理事長 ウイズ／ポスト・コロナ時代の科学技術～産学連携、人材育成を中心に～	山口 雅俊 ヒント 代表取締役／映画監督 映画やドラマの作り方
廣瀬 俊朗 HIRAKU 代表取締役 なんのために勝つか	鈴木 智行 アイデミー 社外取締役 想像力と創造力を発揮して、イノベーションを引き起こす
樋口 晴彦 警察大学校 博士 実際の不祥事例から見たガバナンスの課題	中空 麻奈 BNPパリバ証券 投資調査本部長 2022年の経済展望とリスク
安永 祖堂 臨済宗方広寺派大本山 方広寺 管長 心にひびく禅のことば	小泉 泰郎 FiNC Technologies 取締役CFO 日本のデジタルヘルスケアの現状
藤原 道山 尺八演奏家 都山流 日本の伝統音楽とは／尺八の生演奏	山本 浩平 山本浩平法律事務所 不動産STO～不動産投資の民主化
小澤 直 日本財団パラスポーツサポートセンター 常務理事 パラスポーツの課題と社会に与えるインパクト	松本 和也 マツモトメソッド 代表取締役 リーダーに求められる「話して伝わる力」の実践法
沖 大幹 東京大学 総長特別参与 企業の水・気候リスク開示と持続可能な開発	三浦 智康 野村マネジメント・スクール 専務理事・学長 有事の意思決定～一枚岩の経営チームがリードする

グループ紹介

2021年度活動の特徴と世話人ご紹介

会員の皆さまの参加をお待ちしています！

産業懇談会には874人(2022年6月13日現在)の会員が参加をしています。14のグループに分かれて毎月一回、メンバーや外部講師による話題提供を行い、個性豊かな昼食懇談会を開いています。2022年度の各グループの世話人をご紹介します。産業懇談会にご参加希望の方は、経済同友会事務局まで、お気軽にお問い合わせください。

メンバー数は6月13日時点

第1火曜グループ

新型コロナ禍の赤十字活動や認知症など幅広いテーマで講演と意見交換

●設立：1974年11月 ●メンバー数：40人

世話人



高橋 直樹

クレディセゾン
取締役副社長執行役員CHO



斎藤 聖美

ジェイ・ボンド東短証券
代表取締役



坂本 正彦

東京ワークシェア
最高顧問

第1水曜グループ

幅広いテーマの講演、グループ独自で海外オンライン見学会も

●設立：1974年11月 ●メンバー数：68人

世話人



安田 結子

ボードアドバイザーズ
シニアパートナー



平野 英治

メットライフ生命保険
取締役 副会長



橋本 孝之

日本アイ・ビー・エム
名誉相談役

第1木曜グループ

メンバー自身の事業や動向、課題の講演が中心

●設立：1974年11月 ●メンバー数：86人

世話人



北原 義一

東京ドーム
取締役会長CEO



田中 廣

タナチョー
取締役社長



長谷川 隆

日本能率協会マネジメントセンター
取締役会長

第2火曜グループ

デジタルヘルスケア、宇宙飛行士の活動など、多彩な講演

●設立：1979年11月 ●メンバー数：42人

世話人



西村 豊

ミスター・マックスホールディングス
取締役



増山 美佳

増山&Company
代表



中野 宏信

トラスター・キャピタルパートナーズ
ジャパン・リミテッド
日本代表兼マネージングパートナー

第2水曜グループ

身体性の変化、脱炭素社会への展望などの講演を開催

●設立：1976年9月 ●メンバー数：102人

世話人



竹内 成和

H.U.グループホールディングス
代表執行役社長 兼 グループCEO



首藤 透

AIGジャパン・ホールディングス
取締役 執行役員



中島 好美

積水ハウス
取締役

第2木曜グループ

日本の伝統音楽などの講演や、バーチャルオフィス見学会も実施

●設立：1977年10月 ●メンバー数：54人

世話人



清水 新一郎

日本航空
取締役副社長執行役員



中村 誠

ギリアド・サイエンス
常務執行役員



今井 俊哉

Ridgelinez
取締役社長

第2金曜グループ

新型コロナの最新知見、AI防災の最前線などの講演

●設立：1998年7月 ●メンバー数：48人

世話人



鈴木 雅子

パナソニックグループ
エグゼクティブアドバイザー



上野 幹夫

中外製薬
特別顧問



川本 明

アスパラントグループ
シニア・パートナー

第3火曜グループ

見学会では防衛省を訪問

●設立：1983年5月 ●メンバー数：65人

世話人



安田 育生

ピナクル
取締役会長兼社長兼CEO



浅野 敏雄

旭化成
常任相談役



天羽 稔

UMI
取締役会長

第3水曜グループ

医療、水資源、宇宙、コンピュータなどの講演

●設立：1981年10月 ●メンバー数：68人

世話人



守田 道明

イーレックス
取締役



岩崎 俊博

T.IWASAKI
取締役社長



今田 素子

メディアジーン
代表取締役CEO

第3木曜グループ

見学会を実施、東京都写真美術館を訪問

●設立：1988年12月 ●メンバー数：46人

世話人



平野 通郎

東武不動産
取締役会長



小林 英三

日本証券金融
執行役会長



永田 勝志

ダイセーロジスティクス
取締役会長

第4火曜グループ

貧困問題、ウクライナ危機など幅広い講演

●設立：1987年2月 ●メンバー数：55人

世話人



内田 士郎

SAPジャパン
取締役会長



石井 茂

ソニーグループ
社友



内永 ゆか子

J-Win
理事長

第4水曜グループ

見学会では、アートをテーマに寺田倉庫を訪問、懇談会も開催

●設立：1974年11月 ●メンバー数：57人

世話人



芳賀 日登美

Strategic Communication Research Institute
取締役社長



川村 喜久

DICグラフィックス
取締役会長



滝澤 健雄

ミツワ電機
取締役社長

第4木曜グループ

折り紙と文化、アート、工学の講演など、懇談会も開催

●設立：1995年9月 ●メンバー数：44人

世話人



高島 幸一

高島
取締役社長



木下 信行

東京金融取引所
取締役社長



高橋 栄一

ジェダイトメディソン
取締役社長CEO

第4金曜グループ

見学会と懇談会各1回開催 NTTドコモで5G技術を見学

●設立：1974年11月 ●メンバー数：99人

世話人



稲野 和利

野村ホールディングス
顧問



宇治 則孝

第一三共／横河電機
社外取締役



秋田 正紀

松屋
取締役社長執行役員